生産者が語る！

こよりをつむぐ原料物語「オリーブ」

日本最大級の規模をほこる東洋オリーブさまのオリーブ自社農園。その広さは甲子園球場約7個分。

オリーブ一粒に含まれるオイルは約0.3mLと大変希少。

東洋オリーブ　藤塚　隆さま

日本のオリーブのリーディングカンパニーとして「最高品質のオリーブを」モットーに掲げる東洋オリーブさま。今回はスタッフとの親交も深い藤塚さまに、小豆島のオリーブや、Coyoriとの出会いについて聞きました。

日本のオリーブ発祥の地に小豆島がなれたのは気候と先代の努力あって

オリーブが初めて日本にやってきたのは明治41年のことでした。木の生育に伸び悩み、生産を断念する産地が多かった中、それでもなんとか続けられたのは、小豆島がオリーブの本場とされる地中海と気候がよく似ていたから。そして栽培が安定してできるようになるまでの道のりは、決して簡単ではありませんでした。先代たちが試行錯誤を繰り返し、決して諦めなかったからこそ、今があると思っています。現在では、自社農園は約25ヘクタールの面積になり、その規模は日本最大にまでなりました。

瀬戸内海に浮かぶ小豆島は周囲が約120kmと瀬戸内海で2番目に大きな島。その広大な土地と瀬戸内の気候を活かし、醤油、手延べ素麺など様々な特産品があります。

最初うちのオリーブオイルを使いたいと言われた時は、お断りしたんです。

最初、「こよりの「美容液オイル」にうちのオリーブオイルを使うというお話をいただいたとき、新しく化粧品をつくるために使いたい、それだけならちょっと…と思ってお断りをしたんです。本当に貴重で生産量に限りのあるオイルなので。ところが、何度も足を運んでいただき、まずは私たちのオリーブ栽培や搾油・精油技術について、しっかりと学ぼうとする姿勢と熱心さに、話だけはきちんと聞こうという気持ちに笑。うちのオリーブオイル以外も日本で作られた果実や花から抽出したオイルやエキスで、選ぶ基準がなんというか厳しい。スタッフ自ら全国の産地を訪ね、生産者と話し土に触れ選び抜いてると知って協力することに。ただ、国産のオリーブはそうたくさん収穫できるものではないので、オリーブ鑑定士の資格を持つスタッフがこれならと思って厳選したスペインのエキストラバージンオリーブオイルを日本に1台しかないオリーブ専用精製機で丸2日間かけて精製したものを提供しています。効率を重視すればもっと早くやる方法もありますが、オリーブオイルを傷め成分を損なう可能性があるため、うちではとっていません。確かに大変ですが、その分、純度が高くさらっとした使用感のオイルになるんですよ。これからも栽培や採油技術の向上に励み、良質なオリーブの美味しさをもっとたくさんの方に知っていただけるよう、オリーブ一筋で取り組んでいきます。

オリーブ鑑定士の方から精製技術について説明を聞くスタッフ

東洋オリーブさまに精製いただくオリーブオイルがなければ今の「美容液オイル」はあり得ないと言っても過言ではないほど、Coyoriにとって欠かせない存在の東洋オリーブさま。ものづくりに対する真摯な姿勢やオリーブへの想いは学ぶことが多く、スタッフの多くが一度は小豆島を訪れ、農園や工場を取材し勉強させていただいています。スタッフにも愛用者が多い食用の精製オリーブオイルを、東洋オリーブさまのオンラインショップで販売しています。「東洋オリーブ」で検索し、ぜひご覧ください。（Coyoriスタッフ　吉堀）

小豆島産のオリーブオイルも味わえる こよりレストランに、ご招待！

大人気！Coyori化粧品に配合している「奇跡のリンゴ」で作った冷製スープ。

シェフは、青森県弘前でフランス料理店を営む山崎シェフ。「奇跡のリンゴ」で有名な木村秋則さんのご友人でもあります。

毎年、Coyoriの自然素材を使ったレストランを開催しています。

スタッフが畑に赴き、厳選したCoyoriの自然素材。その素晴らしさと、生産者の技術や情熱をお客様にも感じていただきたいという思いで、2011年から毎年秋に1日限りの「こよりレストラン」をオープンしています。オリーブオイルをはじめ化粧品に配合している厳選の自然素材が、この日はシェフの手によって、フレンチのフルコースに生まれ変わります。Coyoriスタッフが料理を運び、生産者から直接話を聞ける講演会など、たっぷりお愉しみいただける「こよりレストラン」。お客様には、お手紙やメルマガで告知し、ご応募があった方の中から抽選でご招待しています。ご案内をお楽しみに。

お客様と生産者の方とCoyoriスタッフとの交流の場にも。

ご注文・お問合せは、お気軽にこちらまで

●(株)JIMOS Coyori(こより)お客様センター(通話料無料) 受付時間9:00～17:00(日・祝・年末年始休業)
0120-175-375 お電話番号はおかけ間違いのないようご注意ください。

●FAX(24時間受付)
0120-707-389

●インターネット
Coyori 検索

●お支払い方法は、代金引換(1回のお支払いが3,300円(税込)以上で承ります。)、郵便振替・コンビニ支払い、各種カード(カード番号・有効期限・ご契約名義人が必要。はがきでは承れません。ご本人様名義のカードのみご利用になれます。)にて。●システム上、表示金額より数円お安くなる場合がございます。●商品は、3日以内にお届け致します。(はがき・FAXでのご注文や、お届け地域、商品によっては1週間前後かかる場合もございます)●金土日のご注文は、通常より配送にお時間をいただく場合がございます。●定期便の解約はお電話で承ります。●商品代金3,143円(税込)未満の場合は、別途送料500円がかかります。[個人情報について]お預かりした個人情報のお取扱いについてはhttps://www.jimos.co.jp/policy/personal.phpをご確認ください。お電話でのお問合せは0120-733-616(月～金/9:00～17:00、祝・年末年始を除く)までお願いいたします。●定期便の変更やお休みは次回お届け日の10日前までにご連絡ください。

●返金をご希望の場合は、商品到着後8日以内に必ずお電話ください。●事前のご連絡がなく商品を返品された場合、所有権を破棄した物とみなし処分させていただきます。また、ご返金も致しかねます。●本品開封可。返品の場合は送料弊社負担。
●お一人様一回限り。●過度な返品が続く場合、お取引をお断りさせていただく場合もございます。●セットでご購入の場合一部商品のみの返品・返金は致しかねます。
返金・交換のお問合せ　0120-055-445(受付時間　9:00～17:00(日・祝・年末年始休業))

JADMA 公益社団法人日本通信販売協会会員

株式会社JIMOS 〒812-0039福岡県福岡市博多区冷泉町2-1 2027033 7061624 2201 (C)2022 JIMOS

Coyoriが綴る、モノ・コト・想い。

Coyori dayori
初回特別号

こよりだより

Contents

- 美容液オイル、7つの裏話。
- こうして「美容液オイル」は誕生しました！
- 生産者に聞く！こよりをつむぐ原料物語
- いらっしゃいませ！こよりレストラン

今回お届けした「美容液オイル」には、
原料から製品になるまで、なかなか表だって
お話しすることがない物語があります。
初回特別号では「美容液オイル」への
こだわりが詰まった裏話をご紹介。
読むほどに、使いたくなる、好きになる、
そんなリアルストーリーです。

coyori

どうしてもお伝えしたかった

7つの裏話。美容液オイル Real Story

Coyoriスタッフ
吉堀 景子
Coyori誕生から今までを、ずっと見続けている創業メンバーの1人。日本全国を東に西に、産地を訪れた数はスタッフの中でも1,2を誇ります。

Real Story 1 原料の育ての親を知っています。

生産者 西留忠さん

[柚 子]

鹿児島で愛情いっぱいに育てられた西留さんの柚子。柚子の加工食品が作られる工程で廃棄される種子を再利用して種子油を抽出。

生産者 山口耕作さん

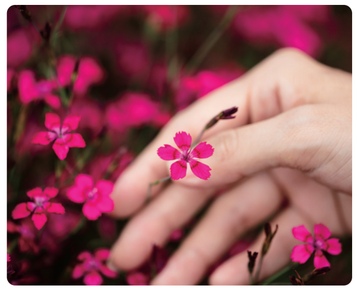
[米]

開発に10年も費やした山形産のお米「ツヤ姫」のコメヌカオイル。高温・高圧の精製法で薬品を一切使わず精製。

スタッフが全国の産地を訪ね、生産者と対話し、素材に触れて、その想いと質を確かめています。

「美容液オイル」には日本中から厳選した25種類もの自然素材が入っています。誰が、どこで、どのように育てているか。肌につける大切なものだからこそ、知っておきたい。そんな想いから自分たちの目で見て、手で触れて、話を聞いて、本当に信頼できると思った生産者の手でつくられた素材を中心に採用しています。こだわりの4種の植物オイルも、生産者の方が手間暇かけて、愛情を持って育て、目利きした素材。それを安全性と効果を確認し、ブレンドし配合しているのです。こよりは、素材やそれを育てる生産者のストーリーも、製品とともにお客様にお届けしたいと考えています。

Real Story 2 自分たちで育てた世界初の化粧品原料があります。



初年度の植え付け。専門家の意見も参考に約5万種の中から厳選。

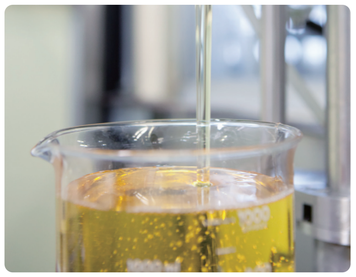
花のみを使った方が効果が高いことが判明したため、1つ1つ手作業で分別しています。

一般的に化粧品に配合されている原料は、原料の会社がつくっているものがほとんどの中、こよりは、2015年から自ら育て原料化するという挑戦をしています。植物の生命力の強さを知っているからこそ、もっと効果的な植物原料を生み出せる。そう信じて化粧品原料のための農園を立ち上げ、研究と栽培を続けてきました。その成果のひとつとして、世界で初めて化粧品への配合に成功した原料が、ヒメナデシコです。紫外線ダメージへの効果を科学的に実証し、原料にするための安定性などの試験を実施。ヒメナデシコの花から抽出したエキスは、美容液オイル白「風」に配合しています。

Real Story 3 どうしても機械まかせにできないこと。

「美容液オイル」の最後の工程、それはシール貼りです。2層が特徴の「美容液オイル」。そのため使う直前に、よく振ってオイルと美容液を混ぜる必要があります。その手順が初めてご使用いただく方でもわかるように「振ってください」という赤いシールを容器に貼るのですが、これだけは機械で行うことができないため、1つ1つ手作業でおこなっています。実は発売当初は貼っていなかったのですが、「振らずに使ってた」というお客様のお声を受け改良しました。効果をしっかり実感していただくために、正しくご使用いただきたい。そのためにこだわる、最後の手仕事です。

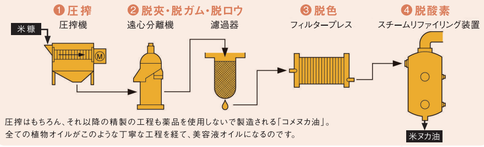
Real Story 4 手間ひまかけて、栄養だけを余すことなく。



「美容液オイル」の原料選びと同様にこだわっていることがオイルの製造工程です。実は、薬品を使えば、時間もコストもかけずに簡単にオイルを抽出することができます。でも、それでは意味がありません。せっかく生産者の方が丹精込めてつくってきたひとつひとつの素材には肌への栄養がぎっしり詰まっています。肌や品質の安定性にとって不要な部分は削ぎ落とし、原料の有用な部分だけを残す。そのために、昔ながらの圧力をかけて搾る方法「圧搾法」にこだわってきました。時間も手間も比べものにならないくらいかかりますが、それだけ良質なオイルになります。

4種のオイルの1つ「コメヌカ油」の搾油を取材した時。「つや姫」を精米した後の米糠（写真左）から、純度の高い、肌に大切な成分は残した透き通った「コメヌカ油」が誕生します。米糠は昔から美容に有効と重宝されてきた素材。

■圧搾米油の物理製法 工程表



圧搾はもちろん、それ以降の精製の工程も薬品を使用しないで製造される「コメヌカ油」。
全ての植物オイルがこのような丁寧な工程を経て、美容液オイルになるのです。

Real Story 5 捨てるものこそ、宝もの。

産地や生産者がわかる貴重な国産自然素材を無駄にしないために、こよりでは通常は破棄する部分も余すところなく活用しています。たとえば配合している柚子種子油。果実から種だけ取り出してつくれば、皮や実がもったいない。そこで、柚子の加工食品をつくるときに不要になる種を分けていただくことに。捨てられてしまう種に含まれる新しい芽を出すための栄養をオイルに活かしています。他にも、ラフランスの枝から抽出するエキスは、果実を成長させるために剪定する枝を活用。この枝には美白成分として知られるアルブチンが果実や葉より豊富に含まれています。捨てられるものでも、植物が育つためには意味がある。そこにはすごいパワーが秘められているのです。

柚子の加工食品づくりで捨てられてしまう種の部分には、新しい命を育てるパワーが。

剪定されてしまうラフランスの枝には、美白成分アルブチンが豊富。

Real Story 6 正直に、全てをお見せします。

Coyoriは「美容液オイル」に配合している成分名とその由来を公開しています。化粧品の成分表示名はカタカナの羅列でわかりづらく、何が入っているか不安に思われているお客様に応えたい。そして安心して使っていただくために、産地も記して由来を表示しています。これは私たちが日本中から原料を厳選していることの表明でもあります。

■全成分・由来

表示名称	由来	表示名称	由来
水	精製水	ショウガ根エキス	高知産生姜の根
オリーブ果実油	スペイン産オリーブの果実	センキュウ根茎エキス	北海道産川芎
グリセリン	ヤシ・パーム	加水分解ダイズエキス	兵庫産果大豆
プロパンジオール	トウモロコシ	ツバキ種子エキス	長崎産椿の種子
PEG/PPG/ポリプチレングリコール-8/ジ/3グリセリン	パーム	トウキ根エキス	北海道産当帰の根
		ナス果実エキス	大阪産水茄子の果実
ツバキ種子油	長崎産椿の種子	モウソウチクたけのこ皮エキス	愛媛産タケノコの皮
コメヌカ油	山形産つや姫の米糠	ユズ果実エキス	徳島産柚子の果実
ユズ種子油	鹿児島産柚子の種子	ユズ種子エキス	鹿児島産柚子の種子
マイタケ子実体エキス	北海道産舞茸	ヨウイニンエキス	北海道産ハト麦の種子
サンショウ果皮エキス	奈良産山椒の果皮	ラベンダー油	ラベンダーの花
アマモエキス	和歌山産アマモ（海藻）	セイヨウアブラナ種子油	アブラナの種子
アロエベラ葉水	沖縄産アロエベラの葉	塩化Na	天然塩
イチジク根皮エキス	大阪産イチジクの根皮	カプリリルグリコール	合成
オクネニンジン根エキス	福島産高麗人参の根	1, 2-ヘキサンジオール	合成
ガゴメエキス	北海道産ガゴメ昆布	ペンチレングリコール	鉱物・合成
ガノデルマアンボイネンセエキス	秋田産鹿角霊芝	BG	合成
加水分解コメエキス	兵庫産有機JAS米	クエン酸	発酵
サガラメエキス	三重産サガラメ（海藻）	クエン酸Na	発酵
酒粕エキス	新潟産酒粕	エタノール	サトウキビ

※原料の自然素材は、産地が変わる可能性がございます。

Real Story 7 お手入れするのは、肌だけではありません。

こだわって選んだ精油の自然な香りが肌と心もリラックスへ誘います。定番の「美容液オイル」はラベンダーの香り。

スキンケアは毎日するものだからこそ、肌だけでなく心もほどくような時間にしていただきたい。そんな思いから美容液オイルは、4種それぞれにテクスチャーはもちろん香りも五感で楽しんでいただけるような処方になっています。こだわったのは、合成香料ではなく、精油そのものの自然な香り。夏の美容液オイルは森林で深呼吸するような香りと軽やかな肌ざわりに、冬の美容液オイルは、心をほどく香りと濃密なテクスチャーに。つけた瞬間、四季ごとに異なる香りを感じていただけるのも「美容液オイル」の魅力です。毎日のお手入れで肌を整える。心を整える。そんな時間をお愉しみください。

ブランドマネージャーが語る「美容液オイル」誕生秘話

Coyori ブランドマネージャー
川上 智子

大切な人たちが、ほんとうに使いたくなるものを。

開発の発端は、「日本女性の肌にいい化粧品ってなんだろう」という基本に立ち返るところから。以前、別ブランドで広告制作を担当していたときに、「年齢を重ねて効果を実感しづらくなった」「安心して使える化粧品が欲しい」というお客様の声をよく耳にしました。そういったお声に応え、ずっと使っていきたいと思っていただけるものを、大切な人たちに自信を持って薦められるものを作ろう。そんな意気込みで、開発を始めました。

皮脂は生きる上で欠かせない、美しい肌を保つ「肌のオイル」。

日本女性の肌構造を調べてわかったのが、欧米人と比べ角質層が薄くバリア機能が未熟であること。逆に皮脂「肌のオイル」は分泌量が多く、それが肌を守り、日本人の美しい肌に大切な役割を果たしていること、また皮脂の量は四季によって変化することも見えてきました。視点を引いてみれば、人間が生きていく上で欠かせないのが、空気、水、ミネラル、オイル。オイルは人の体をつくる細胞の元となっている必要不可欠なエネルギー源です。それは肌にとっても同じです。

当然のように受け継がれてきた、自然を活かす文化や風土に学ぶ。

文献や論文を調べる日々を送る中で目に留まったのが、「身土不二」という言葉でした。その土地で育った、その季節の自然のものが体にいいという意味で、大学の農学部で学び、日本の自然や作物とともにある暮らしに関心を持っていた私の心にスッと入ってきました。日本には身近にある自然を美容に活かしてきた文化・風土があり、コメヌカオイルや椿オイルは歴史的文献にも美容素材として登場しています。また、鹿児島に取材に行った時には柚子の種を焼酎につけて化粧水にする風習を目にしました。暮らしの中で効果を体感し、実証となって受け継がれていること、それは科学的に検証しても理にかなっていることが多いのです。そうした知恵に学ぶ中で、日本女性の肌には日本で育った素材が効果を発揮するという信念を深めていきました。

四季で変化する日本女性の肌を日本の自然素材で調える。

日本女性の美しい肌を保つために大切な皮脂を、四季の肌変化に合わせて、日本の自然素材で調える。これを軸に置き、美容液オイルをつくりました。日本の自然が織りなす素材は、効果はもちろん、日本人にとって親しみ深く、それは安心感にも繋がると思っています。四季の美容液オイルで毎日のスキンケアを愉しんでいただきたいですね。

身土不二とは

仏教用語では「しんどふじ」と呼ばれ、「身（今までの行為の結果）と、土（身がよりどころにしている環境）は切り離せないという意味を持ちます。日本では大正時代から、「保護にためには、その土地・その季節の食べ物がいい」という意味でも使われるようになり、「しんどふじ」と呼んでいます。